

# CONTENTS

## 経営理念と企業ビジョン

1

## 価値創造ストーリー

2

- 2 ビジネスフィールド
- 4 挑戦と成長の軌跡
- 6 ビジネスモデル
- 8 市場環境と事業の展開
- 10 中期戦略
- 12 財務・非財務ハイライト

### 編集方針

太陽誘電は、2018年度報告分から従来の「アナニュアルレポート」の内容に、事業を通じた社会的課題の解決や、ESG（環境、社会、ガバナンス）の取り組みを中心とする非財務情報を追加して統合報告書として発行しています。本報告書を通じ、ステークホルダーの皆様にご覧いただき「お客様から信頼され、感動を与えるエクセレントカンパニーへ」を目指す当社グループについて、より深くご理解いただければ幸いです。

### 報告対象範囲

本報告書は、当社、国内子会社10社、海外子会社16社を合わせた27社（2018年3月31日時点）を対象としています。

### 参考ガイドライン

編集においては、IIRCが推奨する国際統合報告フレームワークや経済産業省の価値協創ガイドラインを参考にしています。ESG情報に関しては、環境省の「環境報告ガイドライン（2012年版）」を参考にしています。さらに、GRIガイドラインを参考にし、環境に関する指標を掲載しています。

### 注意事項

- 本報告書における事業年度は、前年の4月1日からその年の3月31日までです。
- 本報告書に記載されている金額は、億円および百万円未満を切り捨てて表示しています。
- 本報告書の財務データは、日本の会計基準および関連法規に基づいて作成したものであり、当社の英文アナニュアルレポートとは異なる部分があります。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、太陽誘電は、これら商標を使用する許可を受けています。
- 本報告書の記載内容は、2018年6月29日時点のものです。

### 免責事項

本報告書は、太陽誘電グループの業績および事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、太陽誘電およびグループ会社の株式購入や売却を勧誘するものではありません。本報告書の内容には、将来の業績に関する意見や予測などの情報を掲載することがありますが、これらの情報は、現時点の当社の判断に基づいて作成されています。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更することがあります。本報告書利用の結果生じたいかなる損害についても当社は一切責任を負いません。また、本報告書の無断での複製・転記などを行わないようお願いいたします。

## 価値創造のための戦略

14

### 14 社長メッセージ

社長の登壇が、太陽誘電が直面する電子部品業界の環境変化と変化に対応した事業戦略、さらに事業活動を通じた社会的価値創造に関してご説明します。



### 21 特集

#### IoT時代における成長戦略

IoT時代の本格到来に向けて、自動車、産業機器、電力機器などコンデンサの爆発的な需要拡大が期待できる市場を中心とした当社の成長戦略についてご説明します。



- 26 営業概況 At a Glance
- 28 研究開発活動
- 30 人材戦略

## 価値創造を支える基盤

32

- 32 取締役、監査役および執行役員
- 34 ESG
  - 34 マネジメント体制
  - 36 環境(E)・社会(S)関連活動
  - 38 コーポレート・ガバナンス(G)
  - 42 社外監査役対談

## その他の情報

44

- 44 11年間の財務・非財務サマリー
- 46 財務レビュー
- 48 連結財務諸表
  - 48 連結貸借対照表
  - 50 連結損益計算書
  - 51 連結包括利益計算書
  - 52 連結株主資本等変動計算書
  - 54 連結キャッシュ・フロー計算書
- 56 会社情報
- 57 株式情報